

「次世代を担う子どもを元気に！」 名山小児童に黒豚ハンバーグを提供

3月2日、鹿児島県産の黒毛和牛や黒豚などこだわりの肉を扱う「グルメ・スタジアム」が、鹿児島市の名山小学校に「がこしま黒豚ハンバーグ」を提供。給食として、全校児童に振る舞われました。

名山小学校のPTA会長などを務め、昨年11月に白血病のため亡くなった米盛孝一さんは生前、コロナ禍で学校行事が次々に中止・



▲校長の中野明博さん(右)が見守る中、永田和弘さんが児童にハンバーグを手渡しました

縮小となる同校の児童のことを気に掛けていました。義理の息子である同社社長の永田和弘さんがその意志を継ぎ、今回のハンバーグ提供が実現。

「コロナ禍の厳しい状況ですが、次世代を担う子どもたちに鹿児島県産の食材を味わって、元気を出してほしい」と、その思いを語りました。

現在の名山小学校は、給食時間は会話をしない「黙食」を実施していますが、給食後の児童たちからは「だんおいしい！」「肉汁が溢れてきたー」と喜びの声が上がりました。

校長の中野明博さんは「コロナ禍で児童の楽しみの中の行事が制限されてしまっただけで、本当にありがたい申し述べました。」と、感謝の意を述べました。